



JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)

弱溶剤2液型ポリウレタン樹脂屋根用塗料

ルーフマイルドU

ROOF MILD U



塗シン希釈OK!



ルーフマイルドU

これまでの強溶剤塗料から環境負荷を軽減し、塗装作業性を考えて生まれたのがルーフマイルドUです。今では屋根用塗料の主流となりました。

ルーフマイルドUは、弱溶剤可溶性アクリルポリオールを使用した2液型ポリウレタン塗料で、高性能を備えた屋根用塗料です。弱溶剤の塗料シンナーに可溶なタイプで、旧塗膜への適応性に優れ、硬化塗膜は耐候性に優れ、長期間の耐久性を保持します。

ルーフマイルドUの用途

窯業系屋根

住宅屋根用化粧スレート、波形スレート、プレスセメントがわら
注) いぶし瓦への塗装は避けてください。

金属系屋根

カラー鋼板 (カラートタン、カラーステンレス、カラーガルバリウム)、亜鉛めっき鋼板

ルーフマイルドUの特長

低汚染

耐候性

耐アルカリ性

防カビ・防藻性

幅広い素材に適応

塗り替えに最適

優れた作業性

塗シン希釈OK!

2液型ポリウレタン樹脂の結合力が、汚れにくく耐久性のよい塗膜を形成し、優れた耐汚染、耐候性、耐アルカリ性を発揮します。また水溶性成分を含んでいないので、優れた防カビ・防藻性を発揮します。

金属系屋根材、窯業系屋根材ともに適合します。弱溶剤型なので、新築はもとより、フタル酸系、油性系やアクリル等の旧塗膜にも塗装可能です。溶剤型塗料に比べ臭気が少なく、作業環境や塗装作業性に優れています。



塗膜性能(窯業系)

試験項目	評価方法 品質基準	試験結果
鏡面光沢度	JIS K 5600 (60度)	80
耐おもり落下性	JIS K 5600 (デュボン式 500g×30cm×1/2φ)	異常なし
付着性	JIS K 5600 (クロスカット法 2mm幅)	分類0
耐液体性	JIS K 5600 (水道水 浸漬法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600 (水酸化ナトリウム5% 浸漬法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600 (硫酸5% 浸漬法) 23℃×7日間	異常なし
耐湿潤冷熱繰返し性	JIS K 5600 50℃×3h/-20℃×3h/20℃×18h浸漬	10サイクル 異常なし
凍結融解繰返し性	-20℃×16h浸漬/20℃×8h浸漬	10サイクル 異常なし
促進耐候性	サンシャインカーボンアーク灯式 1000h	保持率85% 色差ΔE0.45
耐候性	JIS K 5600 沖縄県暴露場 24ヶ月	保持率75% 色差ΔE2.40

試験塗板：スレート板 乾燥条件：23℃×7日間放置

塗膜性能(金属系)

試験項目	評価方法 品質基準	試験結果
鏡面光沢度	JIS K 5600 (60度)	87
耐おもり落下性	JIS K 5600 (デュボン式 500g×30cm×1/2φ)	異常なし
付着性	JIS K 5600 (クロスカット法 1mm幅)	分類0
耐液体性	JIS K 5600 (水道水 浸漬法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600 (水酸化ナトリウム5% 浸漬法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600 (硫酸5% 浸漬法) 23℃×7日間	異常なし
促進耐候性	サンシャインカーボンアーク灯式 1000h	保持率80% 色差ΔE0.45
耐候性	JIS K 5600 沖縄県暴露場 24ヶ月	保持率70% 色差ΔE2.10
耐屈曲性	JIS K 5600 (円筒形マンドレル法)	2mm
引っかき硬度	JIS K 5600 (鉛筆すり傷法)	F~H
耐中性塩水噴霧性※	JIS K 5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし
塗膜劣化の評価(錆の等級)※	JIS K 5600 沖縄県暴露場 24ヶ月	Ri 1(さびの面積0.05%)
耐結露白化性	塗装2h後、結露24h試験、2h後、目視判定	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板(鉄板) 乾燥条件：23℃×7日間放置
 ※下塗り材として、RMプライマーを塗付しています。

塗装仕様

1. 窯業系屋根材

注) いぶし瓦への塗装は避けてください。

住宅屋根用化粧スレート



住宅屋根用化粧スレートの塗装工程



ルーフマイルドU

マイルド浸透シーラー

基材(住宅屋根用化粧スレート)

住宅屋根用化粧スレート・アスベスト含有波形スレートの塗装仕様

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする(含水率は8%以下、pHは10以下)。									
下塗り	マイルド浸透シーラー 主剤14kg 硬化剤1kg	—	ハケ・ローラー エアレス	1(～2) ^{注1}	0.1～0.15	100～150 (50～75)	5h以内	—	2h以上 3日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1～4L	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		4～6L	エアレス							

注1 15年経過した基材等、基材表面の劣化が進み脆弱になっている場合は、マイルド浸透シーラーを2回塗りしてください。
 ※他の下塗りとして、エポックマイルドシーラーがあります。(基材や既存旧塗膜の劣化が特に著しい場合)
 ※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナー-Aの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

住宅屋根用化粧スレート及び劣化が著しいスレート系屋根材の下塗り材

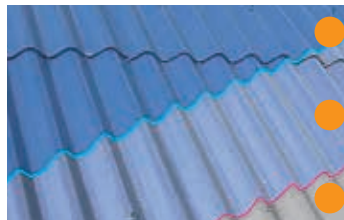
工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする(含水率は8%以下、pHは10以下)。									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1(～2)	0.1～0.15	73～110	8h以内	—	5h以上 7日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1～4L	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		4～6L	エアレス							

※20年以上経過した基材等、基材表面が劣化し特に脆弱になっている場合は、エポックマイルドシーラーを2回塗りしてください。
 ※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナー-Aの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

ノンアスベスト波形スレート



ノンアスベスト波形スレートの塗装工程



ルーフマイルドU

1液ノンアス用シーラー

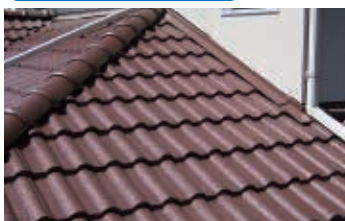
基材(波形スレート)

ノンアスベスト波形スレートの塗装仕様

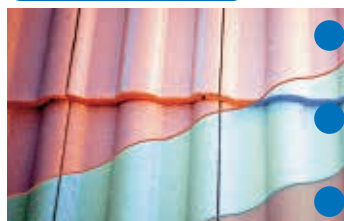
工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする(含水率は8%以下、pHは10以下)。									
下塗り	1液ノンアス用シーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1(～2) ^{注2}	0.1～0.14	107～150 (54～75)	—	—	2h以上 3日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1～4L	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		4～6L	エアレス							

注2 屋根材のスレートの吸いこみが激しい場合、または繊維の毛羽立ちが目立つ場合は2回塗りしてください。
 ※他の下塗りとして、エポックマイルドシーラーがあります。(基材や既存旧塗膜の劣化が特に著しい場合)
 ※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナー-Aの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

乾式洋瓦



乾式洋瓦の塗装工程



ルーフマイルドU

エポックマイルドシーラー

基材(乾式洋瓦)

※施工には留意点が多いため必ずエポックマイルドシーラーもしくは、スラリー洋瓦用シーラー専用カタログをご参照ください。

乾式洋瓦の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、剥離塗膜、脆弱なスラリー層等をデッキブラシ、ワイヤーブラシ、皮スキなどを用い、手作業で除去する。最後に高圧洗浄(最高空気圧力10MPa(100kgf/cm ²))で完全に清浄な被塗面にする。脆弱なスラリー層が残った場合は、シーラーの付着不良を起こす可能性があるため完全に除去する。									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	0 ^(注1)	ハケ・ローラー エアレス	1 (～2)	0.15～0.20	55～73 (28～37)	8h以内	—	5h以上 7日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1～4L	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		4～6L	エアレス							

(注1) 冬場や、基材の状態により塗料のたまり部が発生するなど乾燥性が懸念される場合は、No.1塗料用シンナー(塗シナー)で2L程度希釈し、約半量で2回塗装してください。
 ※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナー-Aの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

プレスセメントがわら(エナメル仕上げ)の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする(含水率は8%以下、pHは10以下)。									
下塗り 注3	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	1~2.5L 2.5~5L	ハケ・ローラー エアレス	1	0.11~0.15 0.15~0.17	100~136 88~100	3h以内	—	4h以上 10日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1~4L 4~6L	ハケ・ローラー エアレス		2	0.12~0.15 0.13~0.16				

注3 プレスセメントがわら・旧塗膜の状態により下塗りに水系Eプライマー、水系ルーファーマーEX、セラフィックス等が必要な仕様となります。
 ※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

プレスセメントがわら(メタリック仕上げ)の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする(含水率は8%以下、pHは10以下)。									
下塗り 注3	弱溶剤系 銀黒用 下塗 主剤14kg 硬化剤2kg	4~6L	エアレス	1	0.16~0.18	89~100	4h以内	—	4h以上 10日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU ^{R色} (メタリック) 主剤14kg 硬化剤2kg	4~6L	エアレス	2	0.1~0.11	73~80	4h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上

注3 プレスセメントがわら・旧塗膜の状態により、下塗りに水系Eプライマー、水系ルーファーマーEX、セラフィックス等が必要な仕様となります。
 ※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

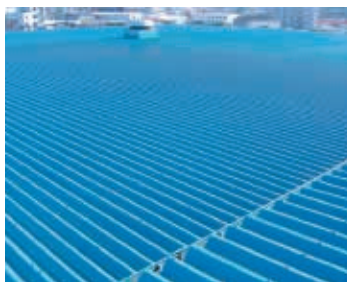
陶器瓦の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする(含水率は8%以下、pHは10以下)。									
下塗り	陶器瓦用プライマー 主剤16kg 硬化剤2kg	0~1.5L 1.5~2.5L	ハケ・ローラー エアレス	1	0.14~0.16 0.21~0.23	113~129 78~86	4h以内	—	16h以上 10日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1~4L 4~6L	ハケ・ローラー エアレス		2	0.12~0.15 0.13~0.16				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

2. 金属系屋根材

カラー鋼板屋根(折板・瓦棒)



カラー鋼板屋根の塗装工程



ルーフマイルドU

RMプライマー/エポックマイルド#1000

基材(カラー鋼板)

金属系屋根材(アルミ鋼板・ステンレス鋼板)の塗装仕様 新設及び旧塗膜の状態が良い場合

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	1~2.5L 2.5~5L	ハケ・ローラー エアレス	1	0.11~0.15 0.15~0.17	100~136 88~100	3h以内	—	4h以上 10日以内	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1~4L 4~6L	ハケ・ローラー エアレス		2	0.1~0.12 0.11~0.13				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

金属系屋根材(さびが発生している場合)の塗装仕様

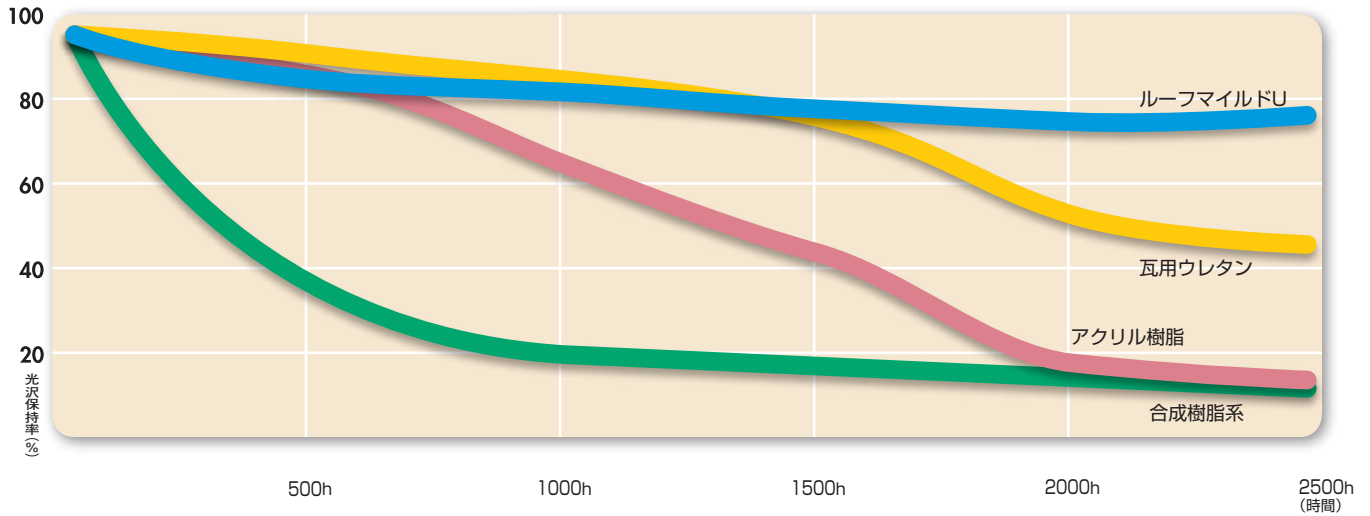
工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)			
							工程内	工程間	最終養生	
素地調整	さびの発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り 注4	エポックマイルド#1000 主剤15kg	3~4L 5~6L	ハケ・ローラー エアレス	1	0.14~0.16 0.15~0.17	94~107 88~100	—	—	4h以上	—
上塗り	ルーフマイルドU 主剤14kg 硬化剤2kg	1~4L 4~6L	ハケ・ローラー エアレス		2	0.1~0.12 0.11~0.13				

注4 さびが著しい場合は、エポックマイルド#2000または水系ハイエポックスを使用してください。
 ※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適しないものがあります。その場合は、RMシンナーを使用してください。

ルーフマイルドUの優れた耐候性

■ 光沢保持率 (キセノンウェザーメーター)

放射照度：60w/m²
試験板：カラー鋼板 色相：濃色系



乾燥時間と可使用時間

気温	乾燥時間		可使用時間
	指触乾燥	半硬化	
5℃	50分	6時間	7時間以内
10℃	30分	4時間	6時間以内
20℃	15分	3時間	4時間以内
30℃	10分	2時間	3時間以内

※乾燥時間は施工時の環境 (通風等)、RMシンナーの希釈割合により変わります。可使用時間は施工時の気温、保管状態、RMシンナー希釈割合により変わります。

荷姿

ルーフマイルドU	16kgセット [主剤14kg 硬化剤2kg]	常備色22色 (別途見本帳参照)
弱溶剤系 銀黒用 下塗	16kgセット [主剤14kg 硬化剤2kg]	
エポックマイルドシーラー	11kgセット [主剤10kg 硬化剤1kg]	
マイルド浸透シーラー	15kgセット [主剤14kg 硬化剤1kg]	
1液ノンアス用シーラー	15kg 4kg	
RMプライマー	15kgセット [主剤14kg 硬化剤1kg]	常備色4色 グレー (日塗工 N-55程度) 黒 (日塗工 N-15程度) 赤錆 (日塗工 09-40程度) 白 (日塗工 N-93程度)
RMシンナー	16L 4L	※シンナーはA (春秋型)、S (夏型)、W (冬型)、W速乾用があります。 (注意) 艶、乾燥性、塗装作業等に問題が生じ易いため、季節に応じたRMシンナーを使用してください。
陶器瓦用プライマー	18kgセット [主剤16kg 硬化剤2kg]	常備色2色 グレー (日塗工 N-70程度) ブラウン (日塗工 09-40L程度)
エポックマイルド#1000	15kg 4kg 常備色4色	グレー (日塗工 N-70程度) ブラウン (日塗工 09-40L程度) クリーム (日塗工 25-90B程度) 黒 (日塗工 N-25程度)
ルーフマイルド用ローラー調整剤	4L 1L	

仕様全般

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
3. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こす事がある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
4. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
5. 波形スレートの山部分や金属板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りする事を推奨します。
6. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
7. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がり不良等が起こりますのでご注意ください。
8. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
9. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
10. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
11. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
12. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
13. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
14. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
15. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、充分に配慮をお願いします。
16. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーを使用してください)。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
6. ローラー塗装時に巻き込み泡が発生した場合は、「ルーフマイルド用ローラー調整剤」を主剤14kgに対して100cc(ml)添加してください。
7. 旧塗膜がある場合は、2液型塗料は溶剤などの影響により膨れやちぢみ等の塗膜異状が発生する可能性があります。試し塗りにより確認の上、塗装してください。
8. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、ご注意ください。
9. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものを使用してください。
10. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーを使用してください。
11. 2液型塗料は、硬化が不十分な場合にRMシンナーで再溶解する場合があります。
12. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
13. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
14. 硬化剤はイソシアネートを含有している為、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
15. 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ **06-6391-3039**

営業時間：午前 9:00~12:00 午後 1:00~3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。